

Mirage-PRO

SPIN CYCLE FSB-101

取扱説明書



このたびは本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。
取扱説明書はお読みになったあとも大切に保管してください。

在日外国人の方はこの取扱説明書を通訳できる方から説明を受けてください。

For your safety and comfort. If you are alien who live in Japan, please ask someone who understand this manual to make detailed explanation for you.

もくじ

「安全にお使いいただくために」はご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

はじめに

安全にお使いいただくために	1~6
組立手順	7~9
表示パネルについて	10~12
負荷レバーについて	12

トラブルシューティング

トラブルが起きたら	13
-----------	----



その他

製品仕様、本体サイズ	13
保証書	




安全にお使いいただくために

このたびは スピンサイクルFSB-101をお買い求めいただきありがとうございました。

- ご使用前にこの「安全にお使いいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

健康を害することのないようのための注意事項

警告

- 本機は、健康維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、また身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師にご相談してから使用してください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病（狭心症・心筋梗塞など）、高血圧症（降圧剤を服用中の方など）、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく・慢性気管支炎など）、変形性関節リウマチ、痛風など

注意

- ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。
- 本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。
- ご使用前には、十分なストレッチやウォーミングアップを行って下さい。

お子様の事故や怪我を防ぐための注意事項

警告

- お子様は遊具として使用しないよう保護者の責任で注意してください。

注意

- マシンを使用している時にお子様をマシンに近づけないでください。

設置上の注意事項

警告

- 防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。
- スピンサイクルの改造は絶対にお止めください。

注意

- 本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用はしないでください。また、水のかからない場所に設置・保管し、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。
さびが発生するおそれがありますので、注意してください。
- 湿度が多い、風通しが悪い、直射日光の当たる場所は避け、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- 平坦な床面に安定した状態で設置し十分に動けるスペースをとって使用してください。
- 使用者がトレーニング中に他の器具等に触れないような場所、また運動動作領域を十分確保できる水平な床面上に設置してください。
- 本体の設置部のガタつきや、ハンドルとの接合部に異常がないか、固定ノブ等の緩みがないかを確認してください。
- 電氣的な各接続部は、確実に接続されており、濡れたものが近くにいることを確認してください。
- 本機には重い部品や、鋭利な部分がありますので、成人が組み立ててください。組立の際には軍手等を着用してください。
- センサーコード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。

保管上の注意事項



(保管方法及び保管上の注意)

- 使用しない場合は、別の用途には使用しないよう、特に子供が使用しないよう注意してください。
- 屋外や湿気の高いところへの保管は、さびの発生、電気部品等の不具合の原因となるため、避けて下さい。特にベルトの劣化の原因となるため、高温の場所に保管しないでください。
- マシンの安全を維持するために日常点検や定期点検を実施してください。
- メンテナンス等で、カバーを外す場合は販売店にご相談ください。

(お手入れ上の注意)

- 汚れや使用後についた汗等は、石鹼水を含ませよく絞った布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。
- 水をかけたり、シンナー・ベンジンなどで拭いたりしないで下さい。
- 油の塗布及び注油は行わないでください。

◎設置場所について

- (1) スピンサイクルの設置場所は使用者の安全を確保するために十分に広い場所を選び、本機の周囲、特にフライホイールに手足が接触しないよう、事故防止に配慮してください。
なお、このマシンは液体の進入や可燃性ガスに対する防爆を考慮しておりませんので水のかからない、また可燃性物質のない場所で使用してください。

また環境条件として、室温、および湿度は四季を通じて、できる限り一定に保つようしてください。

- (2) 本機は重量がありますので、荷重に耐えうる水平な床面に設置してください。設置条件が悪い場合には、振動等が発生したりしますので注意してください。

使用上の注意事項

警告

- トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウェアを着用してください。回転、駆動部に巻き込まれるおそれがあるため、ひも類のない服装としてください。
- 操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。
- トレーニングを止める際には、必ず負荷レバーを最大まで懸け回転動作を止めてください。
- トレーニング中に、目まいや吐き気、その他身体に変調を感じたら、ただちに使用を中止してください。

注意

- ご使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認してください。
- このマシンの使用体重制限は130kg以下です。
- 用途（所定の使用方法）以外の使用を行わないで下さい。
- 同時に2人以上での使用、後ろ向きでの走行、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りは絶対にしないでください。
- ご使用の前に必ずスピンサイクルの状況をチェックしてください。
- 本機の上に絡みやすいものを置いたり、操作パネルやハンドルバーにタオル等を掛けたりしてのご使用は、本体に巻き込まれる危険がありますのでお止め下さい。
- 乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品や使用者を押ししたり引いたりすると、安定性を損なうおそれがあるため、注意してください。
- 不具合が生じた場合には、ご購入元の販売店又は輸入代理店に連絡し対処方法を確認してください。

警告

このマシンをリハビリテーションの目的に使用する場合、危険防止のため、必ず監督者の下で使用してください。

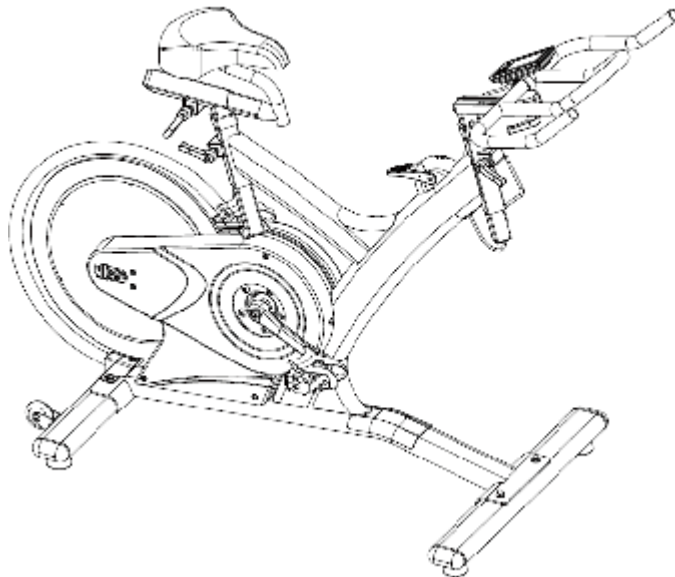
このマシンの走行動作中は事故防止のため、監督者以外をこのマシンに近づけないでください。

注意

負荷レバーの取扱いには十分に注意してお使いください。

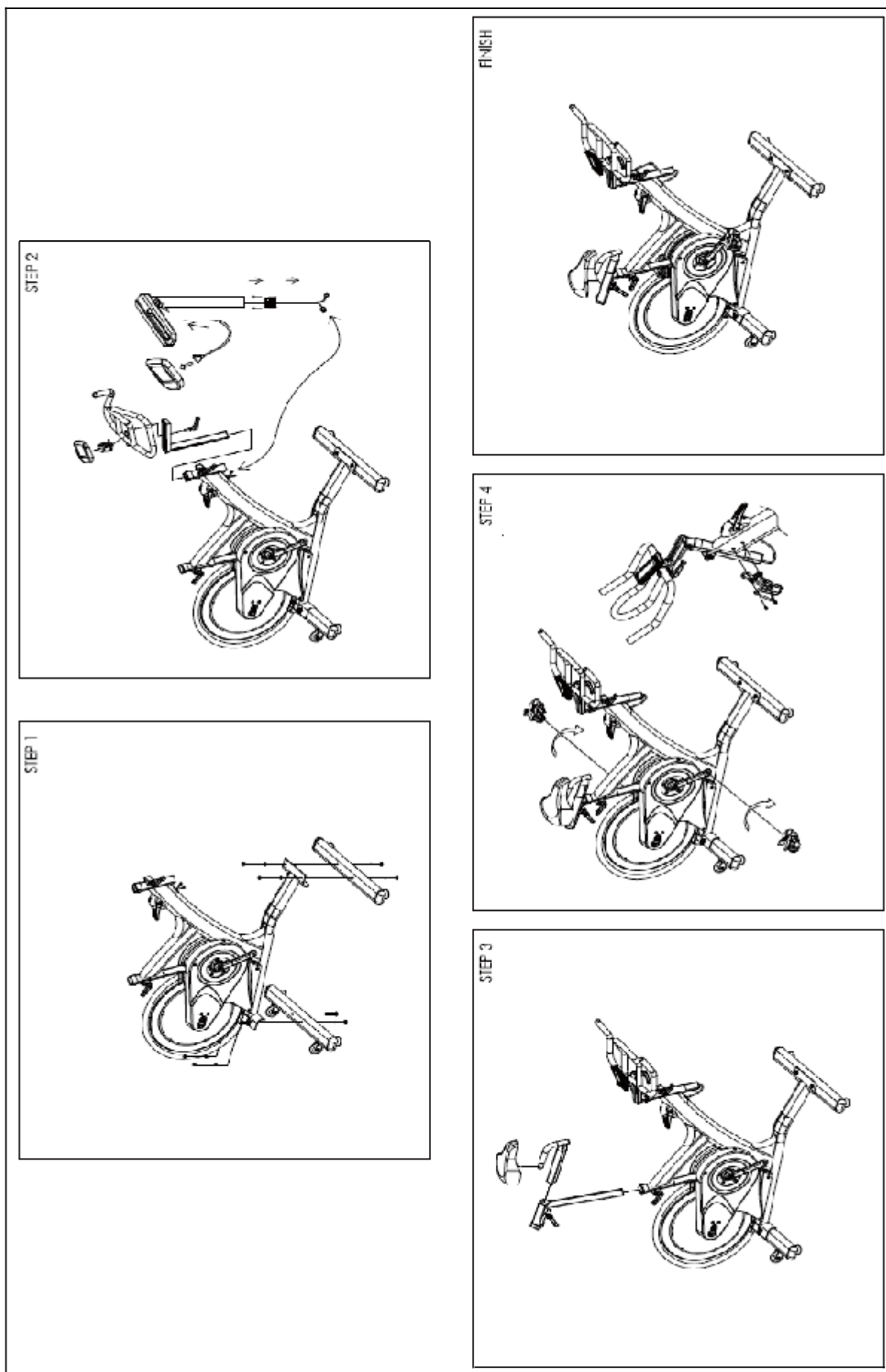
警告

手や足、物が巻き込まれる危険がありますので、作動中は回転部に近づかないでください。



組立手順 (1)

※組立をする前に全ての部品が揃っているか、ご確認ください。



組立手順（2）

STEP1

リアスタンド（キャスター付）を本体に取付けます。

リアスタンドを本体の円盤側後方取付け箇所に合わせて、ボルトを差込み、ワッシャー、ナットで固定します。

※リアスタンド下部のアジャスターを廻すと水平調整ができます。

フロントスタンドを本体に取付けます。

フロントスタンドを本体のハンドル側前方取付け箇所に合わせて、ボルトを差込み、ワッシャー、ナットで固定します。

ネジ山が合っていないまま締め付けると、ネジ山が壊れる事がありますのでご注意ください。

ボルトを強く締め過ぎるとボルトのネジが破損する恐れがありますので、締め過ぎにごご注意ください。

※フロントスタンド下部のアジャスターを廻すと水平調節ができます。

STEP2

ハンドルバーを取り付けます。

本体の支柱にハンドルポストを差し込みます。お好みの高さに合わせてクイックレバーで固定します。次にハンドルバーをハンドルポストのスライド調整部に合せクイックレバーで固定します。コンソールケーブルをハンドルポストの左横の穴から支柱下に通し、それから支柱下から出たケーブルを本体フレームからの負荷レバーと接続します。

次にハンドルバーにサイクルコンピューターのブラケットクランプを取り付けます。サイクルコンピューターと配線コネクタを接続してから、ブラケットクランプに取り付けます。



組立手順（3）

STEP3

サドルを取り付けます。

本体フレームにシートポストを差し込み、クイックレバーで固定します。

シートスライダーにサドルを差し込み、クランプナットをしっかりと締め込みサドルを固定します。

この時、サドルが本体に対して真っ直ぐになるように取り付けてください。

お好みの高さ・前後位置に調整し、クイックレバーをしっかりと固定してください。

STEP4

ペダル（E）を本体（C）に取付けます。

左右のペダル（E）を本体クランクに取付けます。左ペダルは左回し（逆ネジ）反時計回り、右ペダルは右回しの時計回りでクランクにねじ込みます。

※ペダルの裏側と軸やペダルストラップに、左は(L)、右は(R)の刻印がありますので間違えないように確認してください。

ペダルを取付ける時は、最初は指でペダルのネジ山の付け根を持って、ネジ穴にまっすぐに合わせ 2~3 回転ねじ込みます。その後、付属の工具でしっかりと固定してください。

※締め付けが弱いと“コンコン”と異音が発生します。

ネジ山が合っていないまま締めつけると、ネジ山が壊れますのでご注意ください。

ボトルホルダーをハンドルポスト左下部のブラケットに取り付けます。

以上で完成です。

本機はリアスタンドにキャスターが取付けられていますので、フロントスタンドをリアスタンドのキャスターが移動可能域まで持ち上げると、移動できます。

もし本体がガタつく時は、スタンドの両端に付いているアジャスター（ゴム脚）を廻して水平調節をしてください。

表示パネルについて



各表示について

- ①RPM 運動中の1分間当りの回転数を表示します。(0-240RPM)
- ペダリングバーグラフ 運動中の回転数をバーグラフで表示します。(0-200RPM) 10RPM単位
- ②SPEED 運動中の速度を表示します。(0-96km/h)
- ③♥ HEART RATE ※別売トランスミッターベルトを取付けると脈拍数を表示します。(30~240BPM)
- ④WATT ワット値を表示します。(0~999Watt)
- ⑤TIME ペダリングしている間、運動時間を表示します。(表示範囲=00分00秒~99分59秒)
- ⑥CLOCK 現在時刻を表示します。
- ⑦DIST 運動距離を表示します。
- ⑧KCAL 運動中の消費カロリーを表示します。
- ⑨LOAD 負荷レバー値を表示します。

※上記の項目は換算推定値であり、目安程度にご使用下さい。

本パネルは AUTO POWER ON/OFF 機能付きです。

時刻設定：時計表示の状態でセットボタンを5秒間長押しします。

すると時計表示12H/24Hの切替が点滅しますので、セットボタンで選択し、モードボタンで決定します。

次に時計の時(CLOCK HOUR)をセットボタンで調整し、モードボタンで決定します。

続いて時計の分(CLOCK MINUTE)をセットボタンで調整し、モードボタンで決定します。決定を押すと12H/24H切替に戻ります。ペダルを漕ぐか、8秒後に通常状態に戻ります。

表示パネルについて

リセット： 表示項目カウントをリセットします。

モードボタンを約5秒間長押しすると、平均速度、心拍数、時間、距離、消費カロリーがカウント0に戻ります。

注意事項：

※このサイクルコンピューターは防水加工されておりません。濡れてしまった場合、速やかに拭き取ってください。

過度に水がかかった場合保証の対象外となります。

電池交換蓋以外の箇所を開かないでください。

ハートレート測定： トランスミッターベルトを使用して心拍数を表示します。

運動を始める前に、別売 POLAR トランスミッターベルトを取付けてください。

この時、トランスミッターベルトの電極部分を濡らせてください。

トランスミッターベルトを装着すると、サイクルコンピューターに心拍数が表示されます。

※心拍数のモニタリングを支障なくおこなうために、電波干渉の恐れが無い箇所でご使用してください。

別売：トランスミッターベルト対応品番：POLAR T34

負荷レバーについて

負荷レバーは16段階切替となっております。

レバーを下げると軽くなり、レバーを上げると重たくなります。

“－”表記箇所までレバーを下げるとブレーキシステムはフリーになります。

緊急停止：

負荷レバーをグッと押し上げるとブレーキがかかり緊急停止します。



注意： トレーニングを止める際には、必ず負荷レバーを＋方向最大まで上げ回転動作を止めてください。負荷が軽い状態で運動を止めようとすると危険が伴います。

使用上の注意事項

ハンドルの高さやサドルの高さを自分に合う適正な高さに調節して下さい。
ペダルストラップを適切な締め具合にしてください。

もし本体がガタつく時は、スタンドの両端に付いているアジャスター（ゴム脚）を廻して水平調節をしてください。

ハンドルバー、サドルの位置調整方法

調整レバーはラチェット式ノブになっております。

緩めたい時

- ①クイックレバーを右に回します。
- ②クイックレバーを手前に引っ張ります。
- ③クイックレバーを元の位置に戻します。
- ④クイックレバーをさらに右に回すと緩んできます。
- ⑤クイックレバーを左に回し固定させます。

①～④を繰り返すと、徐々に緩くなり位置調整が可能となります。

反対に締め込む時には、逆の手順で行います。

締め込みたい時

- ①クイックレバーを左に回します。
- ②クイックレバーを手前に引っ張ります。
- ③クイックレバーを元の位置に戻します。
- ④クイックレバーをさらに左に回すと締め込まれていきます。
- ⑤クイックレバーを右に回すと緩んできます。

①～④を繰り返すと、徐々に締め込まれていきます。



トラブルが起ったら

ご使用中に異常が発生した場合は、まず次の点をチェックしてください。
それでもトラブルが解消されなければ、お求めの販売店・代理店までご連絡ください。

トラブル内容	対処方法	手順参照
●表示しない・表示が動かない	クイックスタート時にいずれかのボタンを押してみてください。 新しい電池と交換してください。 電池の差込み方向（+、-）を確認してください。	
●パネル表示が薄い、消える	新しい電池と交換してください。	
●ペダルが取付けられない	ペダル左右が、間違っていないか？ペダル軸及び下面にL(左)／R(右)の表示がありますので御確認下さい。	P.9 参照
●本体より異音がする	ペダルの締め付け不足があると、一定周期で異音が発生します。ペダルの締め付けを再度行ってください。	P.9 参照
●マシンにガタつきがある	フロント(F)、リアスタンド(G)の水平調整用のアジャスター一回し安定するところに調整してください。	P.9 参照

製品仕様

製品の仕様および外観などは改良のために、予告なしに変更することがあります。

品名	Mirage-PRO スピンサイクル
品番	F S B - 1 0 1
フレーム重量	15kgs
カラー	シルバー×イエロー
負荷方式	電磁ブレーキ負荷方式（15段階調整）
本体サイズ	1200（L）×650（W）×1250（H） 単位：mm
材質	スチール鋼管 ABS／PP樹脂
使用電源	単4乾電池 DC1.5V×2
使用体重制限	130kg
本体重量	47kg
使用室内環境	温度：6℃～40℃ 湿度：80%以下
生産国	台湾

別売：トランスミッターベルト対応品番：POLAR T34

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製 品 名	スピンサイクル
製 品 番 号	FSB-101

お買い上げ日： 年 月 日

保証期間はお買い上げの日から1年です。

お名前

ご住所

電話番号

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き、納入後1年間を原則として販売店が保証修理致します。
- 保証修理は補修または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は、出張費を請求する場合がありますので予めご相談下さい。
- 保証修理をお受けになる場合には、製品保証書の提示が必要となります。
- 保証期間内においても、保証書の提示がない場合は、無償修理の対象になりませんので保証書は大切に保存して下さい。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償にての修理となります。
 - ・誤用、乱用及び取扱の不注意によるもの
 - ・弊社が認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき
 - ・火災、水害、地震、落雷及びその他の災害、戦乱、争乱によるもの
 - ・部品の通常の摩耗。又は、経年劣化
 - ・運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、及び外見上の変化
 - ・機能に影響のない感覚的現象（音、振動など）
- その他の保証対象免責事項
 - ・運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかる費用）
 - ・取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害
 - ・保証期間内中でも使用できなかった事による期間損失等の費用
- 当社の全責任は、全ての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争については、富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

■商品に対するお問い合わせは、お買い求めの販売店にご相談ください。

販売店

輸入代理店

— Fitness & Bicycle —
株式会社フジモリ

〒933-0831 富山県高岡市若富町 186

TEL. 0766-21-0958 FAX. 0766-21-0957

E-mail fitness@fujimori-r.com

URL <http://fujimori-r.com>



アフターサービスのお申し込みはお買い上げのお店へ